

令和6年度里庄町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議における主な意見

開催日時：令和7年3月25日（火） 10時30分から12時00分

基本目標1：元気でいきいきと暮らせるまち【保健・医療・福祉】

○子育て支援の充実

・保育所は物的な問題というよりも人的な問題。元保育士だった人などにサポートを頼むとか、人材の掘り出しなどが有効な手立てになる。保育士の負担が軽減できるようICTを活用することも必要になってくる。

○健康づくりの推進

・特定健診対象者が役場に来られた際、受診していただくように声掛けするなど工夫すればよい。

基本目標2：希望を持ち、豊かな心を育むまち【教育・文化・スポーツ】

○学校教育の充実

・里庄の子どもが、非認知能力という言葉を送りげなく使っていたのが印象に残っている。
・学年が進むにつれ、世の中が見えてくると同時に自分が見えてくることがある。世の中が見えて自分との乖離がわかっても夢を持ち続けて欲しい。
・スポーツ事業の募集時に、もっと積極的な呼びかけの方法を考えたらどうか。

基本目標4：自然と共生する美しいまち【環境保全】

○循環型社会の形成

・地域に対してゴミの排出量を減らすための講習を的確にすれば意識も変わってくると思う。1箇所でも意識し分別収集を正しくする地区があれば自ずと隣の地区の意識も変化する。

基本目標6：活力と魅力あふれる元気なまち【産業】

・製造品出荷額に関しては、里庄町は大きな町ではないので大規模な企業の出荷額の増減によりかなり変動がある。事業者数が増えて出荷額が減少しているのは小規模な事業所が増えている影響だと思われる。

・まこもたけに関しては、徐々に作付面積も作り手も減少している。まず、担い手を確保しなければならない。